



労使によるイクボス推進宣言

連合三重 三重県経営者協会

労使によるイクボス推進宣言

9月22日(土)、「仕事と家庭の両立、ダイバーシティのある職場づくり」をテーマに、三重労使政策シンポジウムを開催。全国で初めて、労使によるイクボス推進宣言を行いました。(詳細はP3に掲載)

目次・主な内容

■ 三重経協News

2

■ 事務局News

13

■ 三重労働局News

11

■ れんらく・つうしん

13

■ 三重県労働委員会News

12

■ 業務日誌

14

三重経協活動報告

第60回三重労使会議



三重労使会議風景

9月22日（土）津都ホテル「安濃津の間」にて、第60回三重労使会議を経営者側14名、労働者側14名の出席者で開催しました。

始めに連合三重 吉川会長、三重県経営者協会 小倉会長の両会長より挨拶があり、小倉会長は今年各地で発生した豪雨や台風、地震等の災害について、日頃からの防災、減災ための備えが必要です。また、春闘については、政府から5年連続で賃上げの要請を受けた異例のものであり、大手企業は5年連続でベアが実施され、額・率とも昨年を上回る結果でありました。妥結内容には、長時間労働の解消など、来年4月から段階的に施行される「働き方改革関連法案」を先取りした内容も多く、賃上げも含め人材に投資する動きがより一層進んだ労使交渉でありました。労働力人口の減少、人手不足が進む日本では、人材確保が重要な経営課題になっており、これを解消するためにも、仕事のやり方や会社の仕組みの見直しまで含めて、法制度の改正と並行した改革が必要であります。労使一丸となって、企業を永続させるための知恵を出し合い、一層の活力を生み出す「賃金体系」や「勤務体系」のあるべき姿を模索し、「働き方改革」を推進していかなければならないとの挨拶がありました。

その後、連合三重側より経営者協会に対し2019年度「政策・制度要請」が提出されました。

次に、「ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現に向けた働き方改革の推進と不払い残業の根絶並びに過労死ゼロ対策等の推進宣言（案）」について三重労使会議として確認が行われました。

会議終了後は昼食をとりながら終始和やかな労使の意見交換となりました。昼食終了後、引き続き同会場にて、三重労使政策シンポジウムが開催されました。



挨拶する小倉会長

■労使協働事業活動報告

①三重労使雇用支援機構活動報告

- ・「労・使・学連携によるライフプランセミナー」について
- ・障がい者ステップアップ推進運動について

②婚活事業「素敵な出会いの会」「ハピマリ」活動



小倉会長に要請書を手渡す連合三重吉川会長

三重労使政策シンポジウム

仕事と家庭の両立促進とダイバーシティ推進へ ～だれもが活躍できる三重県づくり～

9月22日（土）津都ホテルにおいて、「三重労使政策シンポジウム」を連合三重、三重労使雇用支援機構と共催で開催しました。当日は労使や行政関係者241名と非常に多くの参加者でありました。このシンポジウムは「働くことを軸とする安心社会の実現」と生産性の向上に向けて、働き方の見直しや、仕事と家庭生活の両

立を可能とする「ワーク・ライフ・バランス」、「子ども・子育てを社会全体で支えること」、「雇用の安定」、「女性の活躍推進」、「ダイバーシティの推進」等、今後の三重県について考えることを目的に開催しました。

また、パネルディスカッションでは、多様な立場の方々をパネリストに迎えて活発な意見が繰り広げられました。最後に、全国で初めて労使がイクボス推進で協定を結び、連合三重 吉川会長、三重経協 小倉会長による「みえの労使によるイクボス推進宣言」を鈴木知事立会いの元、行われました。

◆プログラム

◎講演：「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」

講師：日本労働組合総連合会 事務局長 相原 康伸 氏

◎講演：「誰もが活躍できる！県民幸福度向上に向けて」

講師：三重県知事 鈴木 英敬 氏

◎パネルディスカッション

コーディネーター 名古屋学院大学 准教授 杉浦 礼子 氏

(三重県少子化対策推進県民会議・計画推進部会)

パネリスト 行政の立場 三重県知事 鈴木 英敬 氏

経営者の立場 三重工熱株式会社 代表取締役社長 栗須 百合香 氏

学生代表の立場 地域で頑張る企業・NPOをつたえ、つなげる学生レポーター（ガクレポ）
代表 菅谷 龍太 氏

雇用における均等な機会（男女や性的指向および性自認を含む）、多様な働き方の立場

一般社団法人E L L Y 代表理事 山口 颯一 氏

労働団体の立場 日本労働組合総連合会 事務局長 相原 康伸 氏

◎労使によるイクボス推進宣言



講演する相原氏



講演する鈴木知事



パネラー



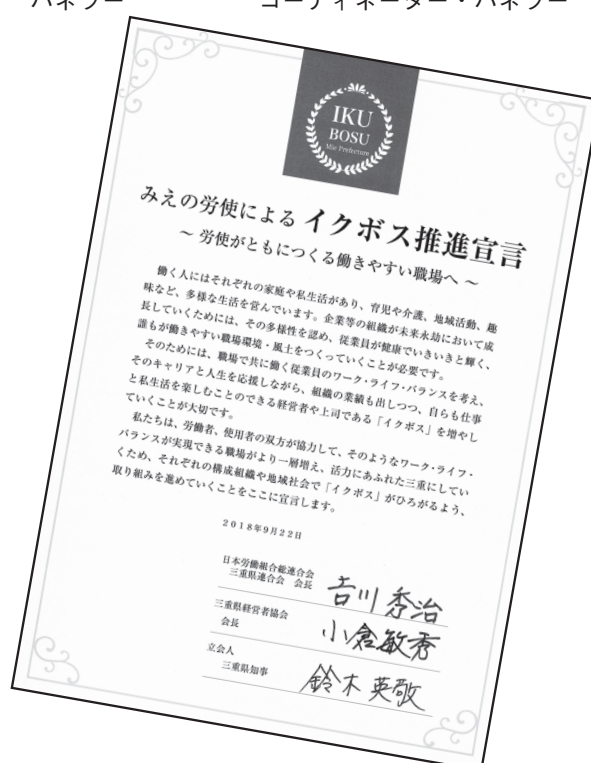
コーディネーター・パネラー



パネルディスカッション風景



イクボス推進宣言



第22期「第1回労管定例総会」

8月9日（木）プラザ洞津において、第22期「第1回労務管理改善協力委員会定例総会」を開催しました。

最初に、第21期の活動報告、各部会の活動報告が行われました。続いて第22期発足に伴う部会再編成についての経過報告、新部会所属決定があり、新役員の選出が原案通り可決承認されました。その後、西尾新会長より就任挨拶を頂き、新役員の紹介が行われました。

定例総会終了後、第22期発足懇親会を開催しました。

第22期労務管理改善協力委員会の概要

今期も、前期同様2部会に分けて活動し、第1部会は各企業が非常に大きな経営課題となっている人手不足（特に新卒採用関係）を中心とし、第2部会は働き方改革関連法案を中心に、近年目まぐるしく変更となる関連法への対応や、新たな企画を加えた内容を踏まえて構成しております。



就任挨拶する西尾新会長

1. 第22期新役員

会 長（新）	西尾 篤 氏（株松阪鉄工所 取締役経営管理部長）
副会長（再）	浦野 智之 氏（近畿日本鉄道株名古屋統括部 運輸部運輸課長）
副会長・北勢地区支部長（再）	橋本 純弥 氏（住友電装株 人事部次長）
〃・中勢地区支部長（新）	田中 良 氏 （中部電力株電力ネットワークカンパニー三重支社 総務部人事グループ長）
〃・南勢地区支部長（再）	田畑 直哉 氏（鳥羽シーサイドホテル株 管理部長）
〃・伊賀地区支部長（再）	山本 正仁 氏（株安永 人事総務部次長）
常任幹事・第1部会長	中林 広己 氏（三重交通株 人事部長）
〃・第1副部会長	田中 正人 氏（御木本製菓株 総務・経理マネージャー）
〃・第1副部会長	村田 親敏 氏（株中勢ゴム 経営企画部総務室次長）
〃・第2部会長	岡本 乾 氏（株伊勢福 執行役員管理部リーダー）
〃・第2副部会長	門井 良仁 氏（東海運輸建設株 常務取締役）
〃・第2副部会長	本田 直基 氏（美和ロック株 総務部長）
〃・事務局	中村 和仁 （三重県経営者協会 会員サービス部課長）



第22期新役員

2. 構成内容

■定例会議

- ①三重労使会議（連合三重との共催）への参加
- ②春季労使交渉セミナーの開催
- ③人脈作りの一環として、簡単な立食懇親パーティーを開催し情報交換の場とする

■第1部会

テーマ「人事部における新卒採用、人材育成のポイント」

- ①採用戦略、就活振り返りと次年度への準備について
- ②インターンシップの現状と課題から考える効果的なインターンシップについて
- ③大学マーケットの変化と大学の現状
- ④入社3年以内の人材の定着について
- ⑤2020年度採用スケジュールについて
- ⑥アンガーマネジメント

構成メンバー：50名

■第2部会

テーマ「人事労務管理のポイント」

- ①働き方改革関連法案への企業の対応について
- ②働き方改革を進める為の注意点
- ③定年後再雇用者・有期契約社員の処遇のあり方について
- ④問題社員への対応について
- ⑤最近の労働委員会事務局の状況と合同労働組合対策について

構成メンバー：51名

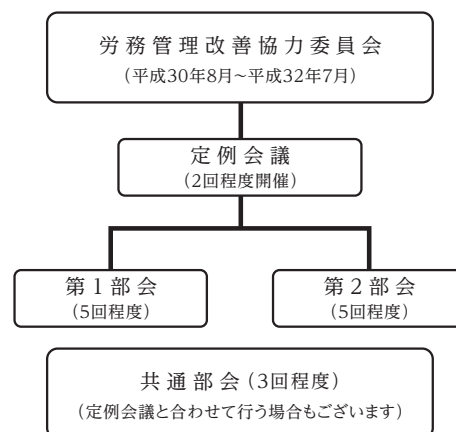
■共通部会

- ①労働基準監督署立ち入り調査への対応について
- ②県外研修会

- ③県外大学・県内大学・高校等との産学連携（高校・高専・短大・大学の就職担当者との交流会・研修会）

※第22期労務管理改善協力委員会は、66社、101名でスタートします。なお、新たに委員会活動に参加されたい方は、年度途中でも参加できますので、事務局、中村までご連絡下さい。

最後に、第21期の労務管理改善協力委員会の皆様方大変ありがとうございました。今後は新役員の皆様を支えて頂き、より一層のご活躍をお祈り致します。



定例会議風景

労務管理改善協力委員会 (9月第1部会活動報告)

9月25日（火）プラザ洞津「孔雀の間」において、第22期初回の労務管理改善協力委員会9月第1部会を開催しました。当日は40名の参加者でありました。

中林第1部会長（三重交通㈱）の挨拶に続いて講演が行われました。今回は、2019年卒の採用活動の準備をしていく時期となり、新卒採用においては年々非常に厳しい状況となっております。このような状況下において、いかに良い人材を獲得するかが大きなポイントであり、手法も多様化する中で、参加者の皆様には2018年を振り返り、次年度の準備を行う為の参考となりました。

◆プログラム

講演：「採用戦線、就活振り返りと次年度への準備について」

- 新卒マーケットの現状
- 2018年卒大卒マーケットの振り返りと2019年卒大卒マーケットの中間報告
- 2020年卒大卒採用の展望と採用手法のトレンド
- 採用難時代の採用戦線・手法のご提案

講師：名古屋経済大学経済学部教授・キャリアセンター長

（元リクルート 就職ジャーナル編集長）大黒 光一 氏



労管第1部会風景



講演する大黒講師

女性懇話会



応援風景

（地元津商業高等学校）を応援しました。参加者の多くが初めて生でバレーボールを見る方々で、始めのうちは椅子に座って観戦していましたが、試合が進むにつれ、椅子から身を乗り出し、一生懸命応援されました。本来は1試合の予定でありましたが、数名の方はその後の敗者復活戦も応援されておりました。

結果は下記の通りです。

（予選）

津商業高等学校 対 鎮西高等学校（熊本県）

（結果 津商業1 - 2 鎮西）

※惜しくも負けてしまいましたが、敗者復活戦に出場

（敗者復活戦）

津商業高等学校 対 米子北斗高等学校（鳥取県）

（結果 津商業2 - 0 米子北斗）

※敗者復活戦で見事勝利し、決勝トーナメントへ

（決勝トーナメント2回選）

津商業高等学校 対 九州文化学園高等学校（長崎県）

（結果 津商業0 - 2 九州文化学園）



試合風景



集合写真

女性懇話会（津商工会議所125周年記念事業）



講演する元谷氏

9月15日（土）に津都ホテルにおいて津商工会議所設立125周年記念事業「輝く女性のための女性活躍応援セミナー」が津商工会議所女性会主催で開催されました。この講演会に「みえ・花しょうぶサミット」の参加団体でもある女性懇話会にご案内を頂き参加しました。当日は約260名の参加でありました。

講師のアパホテル株式会社 取締役社長 元谷 芙美子氏は、普段は明るいキャラクターでメディアに広告塔として出られています。講演では自身の生き立ちや、ご主人との接し方、社長に就任後の奮闘等を話されました。また、自身が女性社長であり会社が好調なもの、代表である主人のおかげと、企業や団体は男性の力で決まると

のことであり、皆さん熱心に聞き入っていました。

内容：講演：「私が社長です」

講師：アパホテル株式会社

取締役社長 元谷 芙美子 氏



津商工会議所設立125周年記念事業風景

(中部経協三県連携事業)

階層別研修 第1回「管理職マネジメント基礎講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

7月23日（月）プラザ洞津「末広の間」において、階層別研修第1回「管理職マネジメント基礎講座」を開催しました。今年で6年目を迎える人気の講座であり、今回は、10社37名（内、女性11名）で過去最多の参加でのスタートとなりました。当日は、32名の参加者でありました。講師は、昨年に引き続き(株)ヒューマンブレイン 代表取締役の稲垣 正己氏をお迎えし、午前中は「実力と魅力」のある管理職とは何か、社会を取り巻く環境の変化「前提（背景）が変化している」（物から人へ変化）や、「リーダーに求められる3つのスキル」（カッツの理論）を中心に行われました。午後からは「求められるパラダイムの変換」「POWER診断」による個人のリーダーシップの特徴また、「タイプ別診断」を用いて講義が進められました。随時グループ内で討議しながら自分がリーダーとしてまわりに影響を与えているか考えて頂きました。

■主なプログラム

- 「実力と魅力」のある管理職
- 21世紀のキーワードは環境変化への適応能力
（個人の力 → 組織の力）
- 前提（背景）が変化している
- 管理者層に求められる能力（カッツの理論）
- 求められるパラダイムの変換
- POWER診断
- タイプ別診断



第1回階層別研修風景

講義する稲垣講師
(第1回)

階層別研修 第2回「部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～

9月26日（水）プラザ洞津「末広の間」において、階層別研修第2回「部下育成講座」を31名で開催しました。

講師は第1回に続き(株)ヒューマンブレイン 代表取締役の稲垣 正己氏を講師にお迎えし、前回の振り返り（特に自分のタイプ、パラダイム・チェンジ）を行い、その後、「あなたは、人の話を聴いていますか？」として傾聴テストを行いました。管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認し、自分自身、自己主張が強い方かを確認し、人の話を聴く時にどのような聴き方をしているかを診断。また、部下の状況把握をし、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。今回は変化適応力を強化するために、先入観や思い込み、偏見、ブライミング等、良くないパラダイムを払拭し、自分自身のマネジメントスタイルを磨き上げる事を学んで頂いた講座でありました。

■主なプログラム

- 管理者として部下・後輩の話を
本当に聴いているか（傾聴テスト）
- 納得のコミュニケーションサイクル
- コミュニケーションスタイル
- OJTの基本姿勢
- 部下状況把握
- 部下育成計画書作成



講義する稲垣講師



講義風景

新入社員フォロー研修 第1回「社会人基礎力を身につける」



グループ別ゲーム風景

うな気持ちか、また、この研修を通じてどのような事を掴みとれたら嬉しいかを確認しました。

その後、グループに分かれてブロックを使って、経営シュミレーションゲームを行い、各グループそれぞれが役割分担（社長・総務・経理・営業）をしながら1年毎の（合計3年）決算を行いました。グループの中で役割が営業の方の一部は、講師の山田講師（博士役）に必要以上に色々聞き出し、うまく活用している場面も見受けられました。後半は、3グループに分かれて、各グループ横一列になり、日本地図を作成するミッションがあり、各個人別に記載された紙にそれぞれの指示が記載されており、指示に基づきゲームを行います。このゲームは一切喋ることが許されないゲームで、メモによる伝達手段で、皆さんひたすらメモを書いて隣に渡し、このゲームの目的を達成しようと頑張っていました。

また、最後に、働く目的を考え、それを踏まえて次回までの行動目標を落とし込みました。

■研修の目的

①主体性 ②働きかけ力 ③実行力

ルール

・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する（聴く、姿勢） ・全員で助け合う

今日を素晴らしい1日にするために

・積極的に！「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！

・メモをする ・シェア（共有）する

7月26日（木）プラザ洞津「末広の間」において、新入社員フォロー研修第1回「社会人基礎力を身につける」を開催しました。当日の参加者は40名でありました。

この研修は今年で5年目となり、参加者も年々増加しており今回、過去最多の6社42名の参加者で非常に人気の研修であります。

講師は昨年に続き(株)ソ・ラボ 代表取締役の山田 将史氏をお迎えし、前半は入社して約4ヶ月が経過し、今どのよ



講義する山田講師

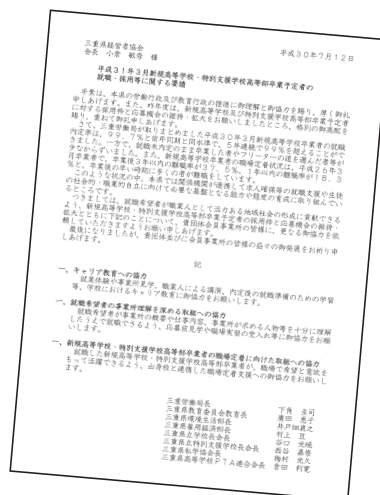
高校生・特別支援学校卒業予定者の採用枠維持・拡大を

～三重労働局・県教育委員会などが経済団体に要請～

去る7月12日（木）、三重労働局 下角 圭司局長と県雇用経済部 村上 亘部長から、小倉会長へ新規高等学校・特別支援学校高等部卒業予定者の就職・採用希望の高校生らの「キャリア教育への協力」、「就職希望者の事業所理解を深める取組への協力」、「新規高等学校・特別支援学校高等部卒業者の職場定着に向けた取組への協力」のお願いなど書かれた要請文を手渡されました。



要請文を受け取る小倉会長（左）、県雇用経済部 村上部長（中央）、三重労働局 下角局長（右）



三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会を下記の内容で開催しました。

今年度は、4月に開校した松阪あゆみ特別支援学校を会場に、施設見学も含めた内容でありました。後半のグループディスカッションや名刺交換会では、様々な立場の方々が障がい者雇用に関しての様々な課題解決に真剣に議論する場となりました。

【開催内容】

日時及び開催場所	プログラム
8月28日（火） 13:30～16:30 松阪あゆみ特別支援 学校 作業室 参加人数：49名	主催者挨拶 三重県雇用経済部雇用対策課長 松下 功一 氏 (1) 施設紹介 紹介者 三重県立松阪あゆみ特別支援学校 校長 中川 悦子 氏 (2) 施設見学 (3) グループディスカッション ・ディスカッション 1回目テーマ「障がい者雇用に向けて、お互い他の分野に求めること」 ・ディスカッション 2回目テーマ「採用後の定着支援について」 (4) フリートーク（名刺交換会）

※8月23日（木）に三重県鈴鹿庁舎で予定しておりました、三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会は、台風20号接近の為、中止となりました。



「産・福・学」風景



「産・福・学」グループディスカッション風景

三重労使雇用支援機構会議

8月29日（水）津都ホテル「鈴鹿の間」において、三重労使雇用支援機構会議を開催しました。参加者は、機構役員及び運営委員の9名で行われました。

冒頭、三重労使雇用支援機構の小倉代表（経協会長）、吉川代表（連合三重会長）の両代表より挨拶がありました。

その後、機構の設立等経緯の説明があり、2009年から現在までの活動報告と、今年度の事業説明及び障がい者ステップアップ推進運動活動状況について報告が行われました。



三重労使雇用支援機構会議風景

ライフプランセミナー

～三重県聾学校高等部～

7月17日（火）三重県聾学校高等部にて、ライフプランセミナーを23名の参加者で開催しました。講師には（株）R & E コンサルタントの中川 真理子氏をお迎えし、下記の内容で行いました。

今年度、三重労使雇用支援機構にて、新たな取り組みとして行う事業であります。このライフプランセミナーは、学生が自身のライフプランを考えるきっかけとなるよう、高校生や大学生等に対して、結婚や妊娠、出産、子育てと仕事の両立など「働き方」も含めた総合的な情報提供等を行う講座を希望する学校に対して、講師を無料で派遣するセミナーであります。今回は、聾学校での開催であり、2名の手話通訳の方をお願いし、参加された学生さん達は手話通訳さんを通じて理解をして頂きました。

（主な内容）

- ◎ライフプランとは…
- ◎結婚のこと
- ◎妊娠・出産のこと
- ◎子育てのこと
- ◎働くこと
- ◎働く心構え
- ◎ビジネスマナー



講演する中川講師



ライフプランセミナー風景（聾学校）

～四日市商業高等学校～

9月13日（木）四日市商業高等学校商業科3年にて、ライフプランセミナーを38名の参加者で開催しました。講師には特定非営利活動法人人材育成センター 理事長の日紫喜 良守氏をお迎えし、下記の内容で行いました。

今回のセミナーは、はじめにライフプランについてのDVDを見て頂き、その後、講義を行いました。参加された学生さん達は熱心に聞き入っておりました。

（主な内容）

- ①DVD
- 「今、考えておきたい将来のこと
ライフプラン」
- ②講義
- ◎ライフプランとは…
- ◎結婚のこと
- ◎妊娠・出産のこと
- ◎子育てのこと
- ◎働くこと
- ◎働く心構え
- ◎ビジネスマナー



講演する日紫喜講師



ライフプランセミナー風景（四日市商業学校）

三重県最低賃金が改定されました。

時間額
820 円

平成30年10月1日から

時間額

846 円

26円UP



必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

ウェブでチェック！

最低賃金制度

検索

スマホでチェック！



＊お問い合わせは三重労働局労働基準部賃金室 TEL 059-226-2108へ

三重労働局受託事業

支援無料

「中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援事業」
をご利用下さい。

「三重県働き方改革推進支援センター」を開設しました

専門家が対応致しますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

主な支援内容

- 「同一労働同一賃金ガイドライン案」等を参考とした非正規雇用労働者の処遇改善支援
 - 過重労働防止に資する時間外労働の上限規制への対応に向けた弾力的な労働時間制度の構築及び生産性向上による賃金引上げに向けた支援
 - 人材の確保・育成を目的とした雇用管理改善などによる人材不足対応への総合的支援
- ※必要に応じて、専門家を派遣します。

支援無料

窓口はこちら



三重県働き方改革推進支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F（三重県経営者協会内）

☎0120-331-266 TEL・FAX 059-226-0033

Eメール:s-chingin@sage.ocn.ne.jp HP:http://miekeikyo.jp/miewlb.html

※開設時間:平日 午前9時から午後5時

三重県労働委員会 個別労働関係紛争のあっせん制度のご案内 ～労使トラブルの解決をお手伝いします～

個別労働関係紛争のあっせんは、個々の労働者と会社との間で、労働条件などをめぐって紛争が発生し、自主的な解決が困難なとき、当事者からの申請に応じて、紛争を平和的に解決するための仲介・援助などを行う制度です。

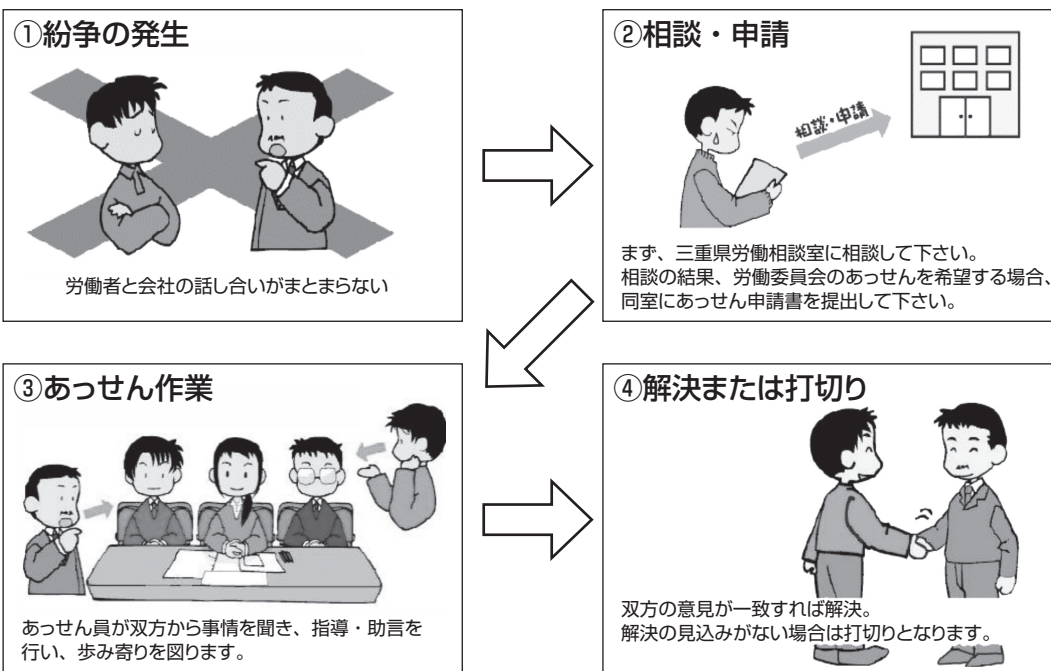
こんなときご利用ください（例示）

- ・ 経営上の理由から配置転換を命じた従業員が、理由もなく拒否している。
- ・ 勤務評定に基づき賞与を減額した従業員から増額を求められ、話し合いがつかない。
- ・ 整理解雇した従業員に何度も説明を行っているが理解してもらえず、裁判所に訴えられている。

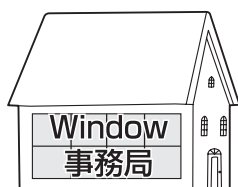
労働委員会のあっせんの方法

あっせん員は、労働者側、使用者側及び第三者の性格を持つ公益側から各1名、計3名の経験豊富な委員が任命されます。あっせん員が公平・中立な立場で当事者双方の言い分を聞き、紛争解決のために適切な助言を行い、双方の歩み寄りを図ります。その結果、双方の意向が一致することで解決が図られます。

まず、三重県労働相談室にご相談ください。
あっせんは、三重県労働委員会が行います。



問い合わせ先 三重県労働委員会事務局 (〒514-0004 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階) TEL 059-224-3033 FAX 059-224-3053
相談・申請窓口 三重県労働相談室 TEL 059-213-8290



新会員の紹介

株式会社オーガス。

事業内容 コンサルタント業務
 代表者 代表取締役 菅原 広之
 所在地 津市雲出本郷町1379-1
 電話 059-234-5555
 F A X 059-238-5577
 ホームページ <http://ecomax-ion.com/>



白山開発株式会社

事業内容 ゴルフ場及び宿泊施設経営
 代表者 代表取締役 福田 正興
 所在地 津市白山町川口6262
 電話 059-262-4011
 F A X 059-262-4001
 ホームページ <http://www.cocopa.co.jp/>



れんらく・つうしん

三重県就職支援協定県外大学12校との三重県「産・学」就職情報交流会

平成28年度より、三重県において、10月15日現在県内出身者の特に多い県外大学12校(関西6校、中部6校)と就職支援協定を締結しております。そこで、**県内で初めて**就職支援協定校のキャリアセンターの職員を一堂に集め、県内企業の採用担当者との情報交流会を開催致します。

県外大学との新たなネットワークを構築して頂く絶好の機会であり、今後U・Iターン学生のインターンシップの受入や採用に繋げて頂くことを目的に開催致します。

参加無料

開催日 / 平成30年12月14日(金) 13:30~16:30

開催場所 / プラザ洞津 2階 『飛翔の間』

津市新町1-6-28(津新町駅下車西へ徒歩3分) Tel.059-227-3291

第1部 / 基調講演 テーマ

「就職支援のプロが教えるターゲット学生が集まる為の企業の魅力発信とは」
 ~三重県出身者が見た県内企業の現状~

講師：国立大学法人名古屋工業大学教授 キャリアサポートオフィス長
 学長特別補佐 就職・キャリア教育担当 山下 啓司 氏

第2部 / 名刺交換会

主催：三重県

運営：三重県経営者協会

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材送出企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用安定センター 三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材受入企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
（2018・7～9）

事業名	とき	ところ
日本経済団体連合会「最低賃金対策専門会議」「幹事会」「地方団体連絡協議会」	7/17(火)	経団連会館
中部経協三県連携事業 階層別研修第1回「管理職マネジメント基礎講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	7/23(月)	ブラザ洞津
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修第1回「社会人基礎力を身につける」	7/26(木)	ブラザ洞津
女性懇話会	8/2(木)	サオリーナ
労務管理改善協力委員会 第22期「第1回労管定例総会」及び「懇談会」	8/9(木)	ブラザ洞津
三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会	8/28(火)	三重県立松阪あゆみ特別支援学校
三重労使雇用支援機構会議	8/29(水)	津都ホテル
ライフプランセミナー	7/17(火)	三重県立松阪高等学校
	9/13(木)	三重県立四日市商業高等学校
女性懇話会（津商工会議所125周年記念事業）	9/15(土)	津都ホテル
第60回三重労使会議・三重労使政策シンポジウム	9/22(土)	津都ホテル
労務管理改善協力委員会 第1部会	9/25(火)	ブラザ洞津
中部経協三県連携事業 階層別研修第2回「管理職マネジメント基礎講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	9/26(水)	ブラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F

平成30年10月25日 発行
発行人／三重県経営者協会